

令和7年度 学校評価に係る学校関係者評価

| | |
|-------------------|-----------------|
| 学校名 | 北海道函館工業高等学校 定時制 |
| [学校関係者評価：学校評議員] | |

| |
|---|
| <p>学校教育目標 校訓「自主創造」のもと、豊かな人間性を培うとともに、工業に関する基礎・基本を習得させ、社会の変化に対応できる実践的な力を育成する。</p> <p>1 重点目標 (1) 自己実現に切磋琢磨できる人間の育成 (2) 母校に誇りを持ち、社会に活躍できる人間の育成</p> <p>2 経営方針 (1) 全教職員の共通理解と経営参画を基に、学校教育目標の具現化に向けて一貫性のある調和のとれた教育活動を展開する。 (2) 指導目標を明確にし、指導内容、指導方法の研究を進め、一人ひとりの生徒の個性や能力・適性を重んじ、自己教育力の育成に努める。 (3) 生徒理解を深め、生徒との心の触れ合いを基盤として、望ましい生活習慣の定着を図り、やる気を喚起する指導の充実に努める。 (4) 生活・健康や安全に関わる指導・管理を充実し、学校全体としての危機管理能力を高め、教育環境の整備に努める。 (5) 家庭・地域社会との連携を図り、地域に開かれた学校として教育活動を活性化し、その成果についての説明責任を果たすよう努める。 (6) 日常の実践活動を基盤とした効果的な研修活動の推進に努め、教職員の資質向上を図り、研修成果の実践により教育活動の更なる充実に努める。</p> |
|---|

1 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野・領域 | 評価項目 | 達成状況 | 取組の適切さ | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
|---|---|------|-----------------------------------|---|----------|---------|
| 学校経営 | ①魅力ある学校づくりがなされていると思いますか。 | B | B | 定時制魅力化コンソーシアムの設立 | A | A |
| | (1) 学校教育目標 | | | | | |
| | ②学校教育目標を理解し、その具現化を意識して、教育活動に当たっていますか。 | B | B | 産業界や大学等と連携し、先端技術と触れる機会の充実に努める。 | B | B |
| | (2) 保護者及び地域との連携 | | | | | |
| | ③日常の教育活動や生徒の様子について、保護者・企業・地域に情報発信をしていますか。 | B | B | メディアや学校HP, note等を活用した情報発信の充実に努める。 | A | A |
| | (3) 学校管理 | | | | | |
| | ④保護者・企業・地域からの意見や相談に対し、誠意を持って対応していますか。 | B | B | PTA、企業、地域を招待した成果報告会等の実施。 | A | A |
| | ⑤PTA・同窓会との連携・協働が積極的に行われ、教育活動の支援に繋がっていますか。 | B | B | 学校行事への参加協力及び活動発表会等の実施。 | B | B |
| | ⑥施設・設備等の維持管理や更新などが適切に行われていますか。 | B | B | DX事業に伴う施設設備の更新 | B | B |
| | ⑦校舎、グラウンド、実験・実習の施設・設備について、安全が確保されていますか。 | B | B | 定期的な設備点検の実施 | B | B |
| 教育活動 | (1) 学習指導 | | | | | |
| | ⑧教職員の職場環境の改善やメンタルヘルスの維持、働き方改革の取組（業務の効率化・組織体制の見直し・部活動休養日・学校閉庁日の設定等）が推進されていますか。 | B | B | 学校校務用のポータルサイトを活用した校務の効率化を実施。 ストレス・チェックの実施。 | B | B |
| | ⑨危機管理体制は適切であり、全教職員の協働の下、推進されていますか。 | B | B | 1日防災学校 防犯教室の実施 | B | B |
| | ⑩「感染症への対策」に沿った教育活動がされていますか。 | B | B | 全定合同の衛生委員会の開催により、学校医を交えた情報交換を実施。 | B | B |
| | (2) 生徒指導 | | | | | |
| | ⑪基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、学習習慣の確立に努めていますか。 | B | B | ICT活用を前提とした基礎基本を重視した指導体制の確立 | B | B |
| ⑫生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の実施と改善に努めていますか。 | B | B | 地学協働体制の充実に努め、体験型学習の拡充を図った。 | B | B | |
| ⑬主体的・対話的で深い学びの視点による指導方法の改善や、学習評価の充実、シラバスの活用などによって、学習効果を高めていますか。 | B | B | クラスルームを活用したシラバスの公開（保護者の閲覧も可能） | B | B | |
| ⑭学校祭や体育大会などの行事によって、協調性や豊かな人間性などを育てていますか。 | B | B | 生徒数減少に伴い、意図的に学年を超えた関係性を作る場面設定をする。 | B | B | |
| ⑮生活指導を通して、ルールを守る態度やモラルの育成に努めていますか。 | B | B | 警察や社労士等との連携 | B | B | |

| | | | | | | |
|------|---|---|---|--|---|---|
| | (3) 進路指導 ⑯教職員の共通理解の下、4年間を見通した組織的・計画的な指導を行い、生徒の進路実現に繋がっていますか。 | B | B | 4年間を見据えたキャリア教育の実現。支援を必要とする生徒への教育支援の充実。 | B | B |
| | ⑰生徒や保護者に対して、十分に進路情報が提供されていますか。 | B | B | 3者面談の実施 | B | B |
| | ⑱多様な生徒に対して、企業や関係機関との連携を図りながら、進路指導が行われていますか。 | B | B | 応募前見学会への積極的な参加を推奨 | B | B |
| | (4) いじめの対応 ⑲いじめの未然防止、発生時の対応、心のケアなどの措置は適切に行われていますか。 | B | B | いじめ対策委員会を中心とした組織的な対応。相談窓口の周知 | B | B |
| | (5) 健康安全指導 ⑳生徒の抱える悩みの早期発見と早期対応、及び解決に努めていますか。 | B | B | 全生徒を対象とした教育相談を実施。 | B | B |
| | ㉑防災、防犯、交通安全、健康管理に係る指導は適切に行われていますか。 | B | B | 車両通学所指導の定期的な実施や外部講師を招いた講習会の実施。 | B | B |
| 学校運営 | (1) 研修について ㉒積極的に研修会などに参加して、自らの資質能力の向上に努めていますか。 | B | B | 対話に基づくキャリアタ ステージに応じた研修の推奨。 | B | B |
| | ㉓校内研修が積極的に行われていますか。 | B | B | サービス研修、個人情報の適切な管理等を実施。 | B | B |
| | (2) その他 ㉔校務分掌等の校内人事は適切であり、全教職員の協働体制のもと、学校運営が推進されているか。 | B | B | 職員の得意分野を生かせる校内人事と協働体制の構築 | B | B |
| | ㉕PTA会計、学年会計、生徒会会計など学校予算は適正に執行されていますか。 | B | B | 厳正に実施した。 | B | B |

2 自己評価における特記事項（総合的な改善方針）

全体的に十分評価ができるので、今後も継続してください。

3 学校関係者評価における特記事項

いじめ事案の発生は残念ですが、双方へのケアに注力して頂きたいと思います。

働き方改革については難しい課題と思いますが、教育環境の改善に適正に対応してください。

＜学校評価に係る学校関係者評価書の記入について＞

- 「1 自己評価結果に対する学校関係者評価」については、以下のように評価してください。
 (1) A：充分である B：概ね十分である C：不十分である D：改善を要する
 (2) 「自己評価の適切さ」の欄には、「達成状況」「取組の適切さ」の評価について、評価を記入してください。
 (3) 「改善策の適切さ」の欄には、「改善の方策」に対する評価を記入してください。
 (4) 各分野・領域についてのご意見のあります場合は、「評価者の意見等」の欄に記入してください。
- 「3 学校関係者評価における特記事項」は、評価結果や改善の方策についてのご意見を記入してください。

スクール・ミッションとは、各学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像を示した学校の中長期的な計画のことです。スクール・ポリシーとは、各学校の入学（入口）から卒業（出口）までの教育活動の指針のことです。